



緊急事態！！

転倒による労災事故多発中 前年比126%

令和7年の災害発生件数において、転倒による死傷災害が、237件（前年比49件増）と、前年を大きく上回る労働災害が発生しています。死傷災害全体（744件）のうち、31.8%が転倒災害によるものです。業種別では、小売業（45件）、製造業（42件）、社会福祉施設（22件）、建設業（14件）となっています。

事業主の皆さまにおかれましては、労働安全衛生関係法令の遵守はもとより、次の労働災害防止対策の実施状況を今一度ご確認いただきますようお願いいたします。

労働災害防止のためのチェックリスト

①転倒災害防止活動について

- 通路、基壇、出口に物を放置していないか
- 床の水たまりや氷、油、粉等を放置せず、その都度取り除いているか
- 必要なものと不要なものを区分し、不要なものは取り除いているか
- 必要なものを、決められた場所に決められた量だけ保管しているか
- 作業場所や通路は十分な明るさ（照度）が確保されているか
- 転倒を予防するための教育を行っているか
- 作業靴は作業現場に合った耐滑性や靴底の摩耗はないか
- ヒヤリハット情報から危険マップの作成及び周知はされているか
- 段差や滑りやすい場所に注意喚起の掲示がされているか
- 階段を通行するときは、手摺りを使用しているか
- ポケットに手を入れたまま歩くことを禁止しているか
- 転倒予防体操や転倒予防のための運動を取り入れているか

②リスクアセスメントについて

- 職場に存在する多種多様な危険性又は有害性の特定ができているか
- 特定した危険有害性をもとに、リスクの見積もりができているか
- 見積もりしたリスクをもとに、リスク低減対策ができているか
- リスク低減後の作業計画となっているか

③安全衛生教育について

- 荷役作業従事者の教育、雇入れ時教育、作業内容変更時教育、特別教育、職長教育等の各種教育が行われているか

《転倒災害予防のポイント》

作業現場や通路の整理整頓をしましょう

1. 作業現場の通路の床には、不要な物はおかずに、常にきれいな状態を保ちましょう。
2. 物を置くスペースには表示をするなど、ルールが明確にわかるようにしましょう。
3. 作業者には、決められた場所以外に物を置かないように教育をしましょう。

作業場の床を整備しましょう

1. 床面に水、油、粉などが付着した場合には、速やかに除去しましょう。
2. 床面に段差や凹凸場所などを見付けたときは、速やかに補修を行いましょう。また、補修が完了するまでは、表示等を行い、作業者に注意喚起を行いましょ
3. 滑りやすい床は、滑りにくい床材の検討を行いましょ
4. 作業靴は、床面の状況に合わせて、耐滑性のある靴を使用しましょう。また、靴底の状況を定期的を確認し摩耗しているときは交換をしましょ



水分・油分を放置せず、こまめに清掃する



例えば戸口に段差がある時

解消できない危険箇所に標識等で注意喚起

転倒しにくい身体づくりをしましょう

1. 転倒予防体操の取入れや転倒予防のための運動を取り入れるなど、身体能力の向上に努めましょう。
2. 高齢労働者は、転ばない身体づくりに必要な「バランス保持運動」や「筋力強化運動」の下肢の運動を継続的に行いましょう。



動画「いきいき健康体操」